

上野の杜にARTが集い、日本文化を世界に発信
上野「文化の杜」にて2016年10月21日(金)、22日(土)、23日(日)開催
『TOKYO 数寄フェス』

<http://sukifes.tokyo>

参加アーティスト及びイベント詳細のご案内 Vol.2



10月21日(金)、22日(土)、23日(日)の3日間、様々な文化・芸術施設を構える上野「文化の杜」で開催される日本文化を世界に発信するイベント『TOKYO 数寄フェス』。期間中、屋外を中心に展開されるアート作品の展示やイベントの詳細が決定しました。10月21日(金)と22日(土)は、一部の施設で開館時間を20時まで延長。アート一色に彩られる上野「文化の杜」で、新たな「数寄」を見つけてください。

『TOKYO数寄フェス』開催概要

名称： TOKYO数寄フェス
 期間： 2016(平成28)年10月21日(金)、22日(土)、23日(日)
 会場： 上野恩賜公園各所(不忍池、噴水広場 他)、東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、上野動物園、東京藝術大学
 参加アーティスト： 日比野克彦+島田清夏、橋本和幸、大巻伸嗣、チームラボ、鈴木太朗、諏訪内晶子、松下功、アンサンブル東風 ほか(順不同)
 ディレクター： 藤崎圭一郎(東京藝術大学デザイン科教授)
 主催： 上野「文化の杜」新構想実行委員会
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 協賛： 株式会社伊藤園
 協力： 東京藝術大学演奏芸術センター、松坂屋上野店

公式ホームページ： <http://sukifes.tokyo/>

公式Facebook： <https://www.facebook.com/sukifes.tokyo/>

『TOKYO数寄フェス』について

上野は、1876（明治9）年5月に日本初の公園として上野恩賜公園が開園して以来、博物館、美術館、芸術大学、動物園、音楽ホールなど多くの重要な文化施設が一つの公園一帯に集まり、世界でも類を見ない文化芸術拠点が集中するエリアとしてきました。その歴史的資源と文化資源の宝庫である上野恩賜公園エリアに関わりのある各機関・団体が相互に協力し、“上野「文化の杜」”という連携組織を作り、日本文化と芸術を国内外へ発信する様々なプロジェクトを展開しています。その活動の一環として、『TOKYO数寄フェス』を開催いたします。近代日本美術の発展に大きな功績を残した岡倉天心が、茶の湯の文化を通して日本の文化芸術の精神を紹介した『茶の本』の思想を背景とし、上野恩賜公園敷地内に広がる様々な文化施設を舞台に、天心が同書で語った《数寄》ということばを軸にアート作品やワークショップ、コンサートを展開。日本や東京を「数寄（＝好き）」になるコンテンツが上野「文化の杜」に広がります。

会期内実施イベント詳細

【アート】

■チームラボ「浮遊する、呼応する球体」

デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団、チームラボ。不忍池沿いの並木道から弁天堂へと続くボールに触ると、光の色が変わり音色が響きます。

- ・日時： 10月21日（金） 20:00～22:00
10月22日（土）、23日（日） 17:00～21:00
- ・場所： 弁天堂（不忍池）
- ・申込方法： 申込不要 ＊自由にご覧いただけます。



チームラボ

デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。47万人が訪れた「チームラボ 踊る アート展と、学ぶ 未来の遊園地」などアート展を国内外で開催。2月からシリコンバレー、3月からシンガポール、8月から韓国で展覧会開催中。また、「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」（森美術館）にインスタレーション作品展示中。他、ミラノ「ミラノ万博2015」の日本館、ロンドン「Saatchi Gallery」、パリ「MAISON&OBJET PARIS」など。



■日比野克彦+島田清夏 「不忍池ファイヤーアート ^{わび}和火・^{まび}茶火

静寂の池に咲く侘び寂び。夏の夜空を彩る花とは異なる花が不忍池に咲きます。都会の中に潜む不忍の闇を彩るファイヤーアート和火・茶火を目撃してください。

- ・日時：10月21日（金） 18:30～（約15分）
- ・場所： 不忍池（ボート池）
- ・申込方法：申込不要 *自由にご覧いただけます。



日比野克彦

1958年岐阜市生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。

1982年日本グラフィック展大賞受賞、平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。地域性を生かしたアート活動を展開する。現在、東京藝術大学美術学部長、先端芸術表現科教授。岐阜県美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員会委員長、東京都芸術文化評議会専門委員を務める。



島田清夏

日本大学芸術学部映画学科卒業。

大学卒業後は映像やインスタレーションを中心に作品を発表。

オーバーハウゼン国際短編映画祭をはじめ国内外の映像祭で作品を発表する。大学在学中に花火ショーのプロジェクトを行ったのを機に、現在に至るまで花火演出・制作に携わる。水や火といった現象アートに興味を持ち東京藝術大学大学院へ入学。現在、同大学院の日比野克彦研究室在籍。花火の新しい表現を研究中。

■大巻伸嗣「Memorial Rebirth ー光の露地ー」

杜の日常を異化する無数のシャボン玉たちが空を舞います。何気なく見過ごされてきた風景と土地に紡がれてきた歴史が観客たちのストーリーと交錯する瞬間、溶け合う世界の新しい興奮が訪れます。

- ・日時： 10月21日（金） 13:00～ / 15:00～ / 18:00～（約30分）
10月22日（土）、23日（日） 11:00～ / 15:00～ / 17:30～（約30分）

*天候や機材調整によって、時間を変更する場合があります。

- ・場所： 噴水広場東側
- ・申込方法： 申込不要 *自由にご覧いただけます。



大巻伸嗣

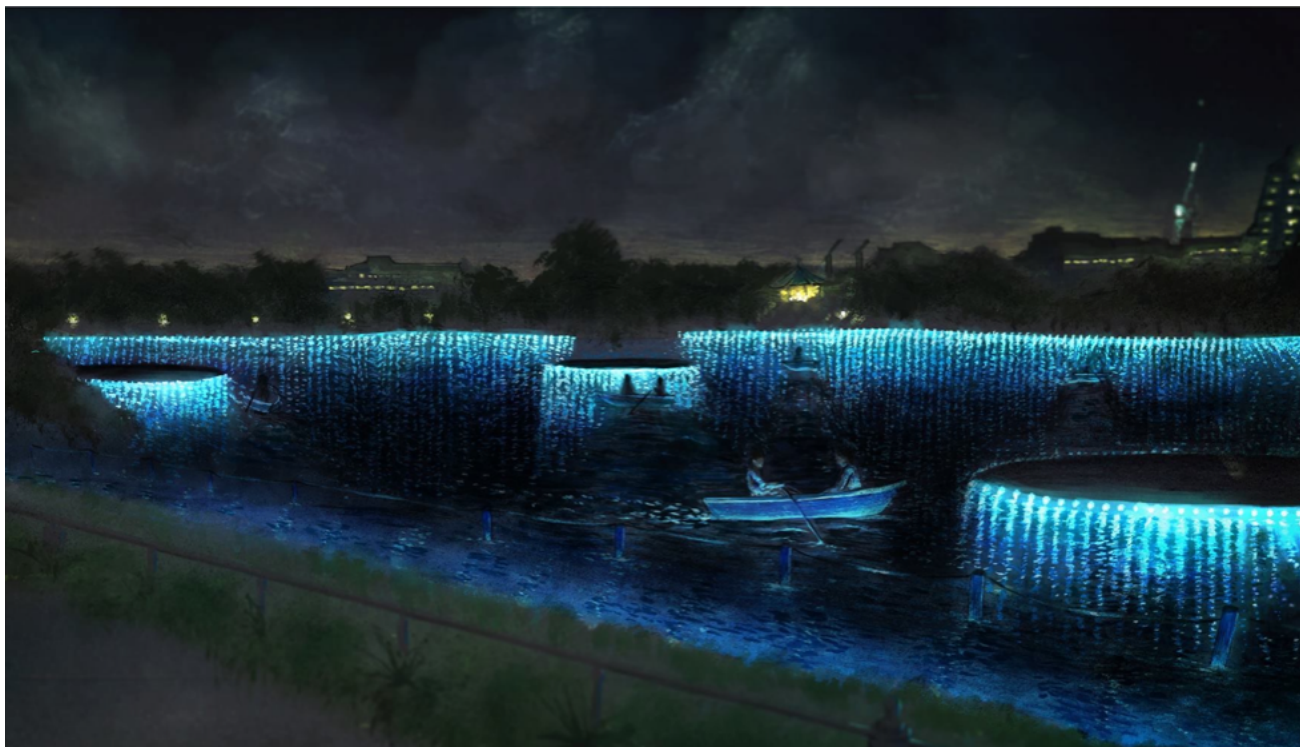
1971年岐阜県生まれ。1997年東京藝術大学大学院修了。

2015年第8回円空賞受賞。様々な手法で、「空間」「時間」「重力」「記憶」をキーワードに、“物質と空間・存在”をテーマとして制作活動を展開する。軽やかかつ大胆に空間を非日常的な世界に変容させ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品を発表。

■鈴木太郎+東京藝術大学美術学部デザイン科 空間・演出研究室 「ミナモミラー」

不忍池をキャンバスにたとえ、光を不忍池に投影します。風の流れによって時間とともに変化する、水面にたゆたう反射光を楽しむ作品です。不忍のボート池全周、池に浮遊するオブジェを淡く柔らかな光が囲みます。現実の世界と水面に映し出された世界を結界をなくしひとつにします。虫の声を聴きながら、幻想的な世界をお楽しみください。

- ・日時： 10月21日（金） 日没後～22:00
10月22日（土）、23日（日） 日没後～21:00
*10月21日（金）のみ、池中央のオブジェ無しでの展示となります。
- ・場所： 不忍池（ボート池）
- ・申込方法： 申込不要 *自由にご覧いただけます。



イラスト：麻生啓史



鈴木太郎

1973年、東京・葛飾生まれ。2005年東京藝術大学大学院修了。自然界の物理現象を観察、その魅力の綿密な考察と理解から、根源的な美しさをもつ作品を生み出すメディアアーティスト。独自の発想や高度なテクノロジーに支えられ、時間軸上に抽出される「物質」や「光」の動きや変化は、鑑賞者に純粋な感動やおどろきを伝える。国内外多数の国際展に参加、公共空間へのインストール、またアトリエオモヤ代表としてその世界を広げ、いずれも高い評価を得ている。現在、東京藝術大学美術学部デザイン科准教授。



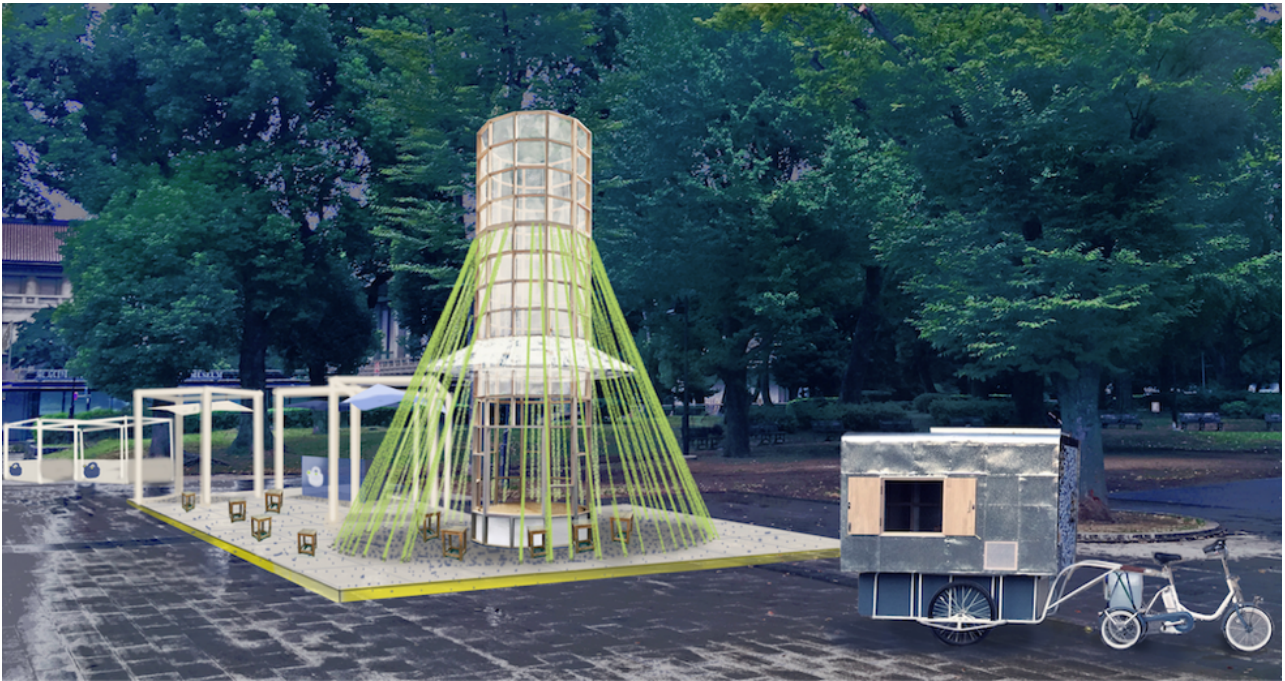
東京藝術大学美術学部デザイン科 空間・演出研究室

素材のほか、光や動きなど造形の諸要素を自由に取り入れ、これらの特性を生かした空間表現の可能性を研究。また、テクノロジーなど新分野との融合も含めた、デザインの新しい領域を開拓している。社会に対するアプローチや企業とのコラボレート、大学間連携を含めた実践的創作活動をおこなう。

■橋本和幸 「ITO EN ティーテイスターフォレスト」

伊藤園のお茶のスペシャリスト「ティーテイスター」が様々な種類のお茶を振舞いながら、お茶の楽しみ方や日本茶の魅力を幅広くご紹介します。爽快に切り取られた橋本和幸がデザインした斬新な空間と、東京藝術大学OBの黒川悦史がデザインしたオリジナルのコスチュームがお茶の新しいカタチを彩ります。

- ・日時： 10月21日（金）、22日（土）、10月23日（日） 各日10:00～18:00
- ・場所： 噴水広場
- ・参加料： 無料
- ・申込方法： 申込不要



橋本和幸

1965年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院修了。

インテリアデザイナーとしてホテル、住宅、商業施設などのインテリアデザインを多数手がける。2006年より東京藝術大学美術学部デザイン科にて、アート、建築、インテリア、ディスプレイ、プロダクトなど空間に関するデザイン全般を研究。現在、東京藝術大学美術学部副学部長、同デザイン科准教授。

■藝祭御輿



東京藝術大学の学園祭である藝祭で展示された巨大なお御輿を展示します。本年度学生によって制作された優秀作5基（ゴリラ・蟹・桃太郎・ウミガメ・猪鹿蝶）が上野の杜を震撼させます。

- ・日時： 10月21日（金）～23日（日） 終日
- ・場所： 噴水広場
- ・申込方法： 申込不要

*自由にご覧いただけます。

【コンサート・パフォーミングアーツ】

■国立西洋美術館・東京藝術大学共催

東京藝術大学演奏芸術センター特別講座「美を語る」

世界的なヴァイオリニスト諏訪内晶子氏と馬淵明子国立西洋美術館長によるトークと演奏をお届けします。

音楽と美術が融合する贅沢な夢のひとつときをお楽しみください。

演奏・スピーカー：諏訪内晶子(Violin / 東京藝術大学客員教授)・馬淵明子(国立西洋美術館長)

コーディネーター：松下功 (東京藝術大学副学長)

- ・日時： 10月21日 (金)
 - ①第1部／対談 19:00 (開場) 19:20～
 - ②第2部／コンサート 20:00～20:30
- ・場所： ①第1部／対談 国立西洋美術館地下2階講堂
②第2部／コンサート 国立西洋美術館 企画展示室前ロビー
- ・定員： 100名 *事前申込制
- ・入場料： 無料 *クラーナハ展 観覧券のご提示が必要です。
- ・申込方法：本イベント特設WEBサイトより申込受付
(URL : <https://goo.gl/forms/ajUUZG43PTUckLid2>)



諏訪内晶子

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。

同学在学中の1990年に史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門優勝。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院へ留学し、本科及び同音楽院修士課程修了。1995年にプレヴィン指揮NHK交響楽団定期演奏会で日本における演奏活動を再開し、以降世界各国の著名オーケストラとの共演を行っている。現在、東京藝術大学客員教授。



松下功

東京藝術大学、及び同大学院にて作曲を南弘明、黛敏郎の各氏に師事。

1977年、日本音楽コンクール作曲部門管弦楽の部入賞。

1985年ドイツ・メンヒェングラードバッハ市国際作曲コンクール第1位。

1986年、第7回入野賞受賞。現在、アジア作曲家連盟会長、東京藝術大学副学長演奏芸術センター教授、一般社団法人日本作曲家協議会会長、アンサンブル東風代表、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「文化・教育専門委員」、天津音楽院客員教授、シンガポール・チャイニーズ・オーケストラ海外顧問、ベルリンフィル・シャルーンアンサンブル名誉会員。

■藝大プロジェクト2016「サティとその時代」 一世紀末からベル・エポックへ

第3回「サティとピアノ…そして、言葉」レクチャー&コンサート

奇抜なタイトルや人をくった態度で有名なサティ。彼は楽譜に通常の音楽用語とは全く異なる不思議な言葉を書き込んでいます。サティ演奏の第一人者、高橋アキ氏をお迎えして、サティの言葉に注目しながら、彼のピアノ曲の数々をご紹介します。

レクチャー：小沼純一（早稲田大学教授）

ピアノ：高橋アキ、鈴木真貴子 ほか

語り：若松泰弘、伊藤安那 ほか

・日時：10月22日（土） 13:30（開場）

①第1部／レクチャー 14:00～

②第2部／コンサート 15:20～

・場所：東京藝術大学奏楽堂

・入場料：3,000円

・チケット購入方法：藝大プロジェクト2016 WEBサイトをご覧ください。

(URL：<http://www.geidai.ac.jp/container/sogakudo/44486.html>)



高橋アキ

鎌倉生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。武満徹作品を弾いてデビュー。1975年より「エリック・サティ連続演奏会」（12回）を企画構成の秋山邦晴とともに開催し、「サティ再発見」の大きな契機となった。また『サティピアノ音楽全集』をリリース。2013年より新たなサティのピアノ作品録音シリーズをリリース。現代音楽を代表する世界の作曲家たちに、ビートルズ・ナンバーを主題とする作品を委嘱した『ハイパー・ビートルズ』シリーズを完成。平成23年、紫綬褒章を受章。2014年、第23回朝日現代音楽賞を受賞。



鈴木真貴子

愛知県立明和高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部卒業。

同大学院修士課程修了時にクロイツァー賞を受賞。「F.プーランクのピアノ作品演奏法」に関する研究論文と演奏で博士号を取得。また、文化庁、明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてパリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学し、コンサーティストディプロムを取得。マルセイユ地方音楽院特別国際マスタークラスでも研鑽を積む。現在、東京藝術大学、桐朋学園芸術短期大学、愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校非常勤講師。

<演奏曲目> エリック・サティ / ジムノペディ

グノシエンヌ

スポーツと気晴らし

ひからびた胎児

世紀ごとの時間と瞬間の時間 ほか

■ル・コルビュジエに捧げる音楽の贈りもの ～サティ・バッハ・パッヘルベル・クセナキス～

世界遺産に登録された国立西洋美術館の設計を担当したル・コルビュジエの事務所で1950年代にスタッフとして働いていた現代音楽家クセナキス。彼の楽曲を始め、ル・コルビュジエが活躍したパリの雰囲気伝えるサティの楽曲や国立西洋美術館で開催中のクラナハ展にあわせたドイツの作曲家の楽曲を演奏します。

演奏：アンサンブル東風

指揮：松下功（東京藝術大学副学長）

①国立西洋美術館地下2階講堂 演奏

- ・日時： 10月23日（日） 15:30（開場） 16:00～16:40
- ・場所： 国立西洋美術館地下2階講堂
- ・定員： 100名 ＊事前申込制
- ・入場料： 無料 ＊クラナハ展 観覧券のご提示が必要です。
- ・申込方法： 本イベント特設WEBサイトより申込受付
(URL : <https://goo.gl/forms/M60POedaaMK4wKyE3>)

<演奏曲目> エリック・サティ / ジュトゥヴ
ヨハン・パッヘルベル / カノン
ヨハン・セバスティアン・バッハ / リチェルカーレ

②国立西洋美術館前庭 演奏

- ・日時： 10月23日（日） 16:50（予定）～17:30
- ・場所： 国立西洋美術館前庭
- ・定員： なし
- ・入場料： 無料 ＊自由にお聴きいただけます。

<演奏曲目> ヤニス・クセナキス / カイ、フレグラ、ルボン



アンサンブル東風

1999年に、若手作曲家と演奏家を中心的なメンバーとして結成された。既成作品・新作を問わず、作曲家・演奏家双方の積極的な意見交換によってプログラムを決める事を前提とし、双方の強力な信頼関係からなる活発且つ大胆な活動を目的としている。2014年には、「アジア音楽祭」に出演し、その優れた演奏によりアジア作曲家連盟より“ベストパフォーマンス賞”を受賞。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、常に聴衆と一体となった音楽を目指している。

【トークイベント・ワークショップ・シンポジウム】

■チームラボ代表 猪子寿之 + 八谷和彦

21世紀のアーティストが岡倉天心『茶の本』を語ったら

チームラボ代表 猪子寿之氏と飛行装置「メーヴェ」の開発でおなじみの八谷和彦氏によるトークイベント。現代テクノロジーの大家である2人のクリエイターが岡倉天心のお膝元で熱い談義を繰り広げます。

スピーカー： 猪子寿之（チームラボ）・八谷和彦

モデレーター： 藤崎圭一郎（東京藝術大学デザイン科教授）

- ・日時： 10月23日（日）13:00～15:30
- ・場所： 東京藝術大学 美術学部 中央棟 第一講義室
- ・定員： 当日先着200名
- ・参加料： 無料
- ・申込方法： 申込不要 *当日先着



猪子寿之

1977年生まれ。2001年東京大学計数工学科卒業時にチームラボ設立。チームラボは、様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジー集団。アート、サイエンス、テクノロジー、クリエイティブの境界を越えて、集団的創造をコンセプトに活動している。



八谷和彦

1966年4月18日（発明の日）生まれの発明系アーティスト。九州芸術工科大学（現九州大学芸術工学部）画像設計学科卒業、コンサルティング会社勤務。その後（株）PetWORKsを設立。作品に《視聴覚交換マシン》や《ポストペット》などのコミュニケーションツールや、ジェットエンジン付きスケートボード《エアボード》やメーヴェの実機を作ってみるプロジェクト《オープンスカイ》などがあり、作品は機能をもった装置であることが多い。現在、東京藝術大学先端芸術表現科准教授。

撮影：米倉裕貴

■「数寄」をテーマにアルバム辞典を作ろう



非対称、好き、空っぽ…

「数寄」をテーマに自分の美意識を本にしてみましょう！

国立科学博物館や動物園、公園内を自由に撮影します。東京都美術館をスタートし、東京藝術大学で冊子作りと講評会を行います。

- ・日時： 10月22日（土） 10:00～13:00 / 14:00～17:00
10月23日（日） 10:00～13:00 / 14:00～17:00

・場所： 国立科学博物館、東京藝術大学、東京都美術館、上野動物園
（集合場所：東京都美術館アートスタディールーム）

- ・定員： 20名/回
- ・対象： 小学4年生以上
*小学4年生未満の方は、保護者ご同伴で参加可能
- ・参加料： 無料
- ・申込方法： 本イベント特設WEBサイトより申込受付

<https://goo.gl/forms/YCOCEmTNqMsiyhm12>

■動物のしっぽを新聞紙で作ろう



動物のしっぽを新聞紙で作ります。細部までしっかりと観察し鋭い観察眼を身につけましょう。作成したしっぽを付けて園内を自由に歩き回しましょう。

10月21日（金）は、3種類の動物のしっぽを作ります。

10月23日（日）は、特別バージョン「お面としっぽで全身パンダ」を開催します。

- ・日時： ①10月21日（金） 全5回（各20分）
10:00～ / 11:00～ / 12:00～ / 13:00～ / 14:00～
②10月23日（日） 全6回（各20分）
12:30～ / 13:00～ / 13:30～ / 14:00～ / 14:30～ / 15:00～
- ・場所： 上野動物園内 東園 動物慰霊碑横テント
- ・定員： 先着20名／回
- ・申込： 21日（金）は9:30より、23日（日）は12:00より、動物園慰霊碑横テントにて当日の各回すべての整理券を配布します。21日（金）に、23日（日）分は配布しません。
- ・対象： 小学1年生以上 *未就学の方は、保護者ご同伴で参加可能
- ・参加料： 無料（入園料別）

■ヨリミチビジュツカン ー緑茶で語らうゴッホとゴーギャンー



夜のライトアップされた東京都美術館で一期一会の出会いを楽しみましょう。「ゴッホとゴーギャン展」を鑑賞後、美味しい緑茶を飲みながら、展示室で話しかけなかったあれこれをおしゃべりしあうワークショップです。

- ・日時： 10月21日（金） 18:00～20:00
10月22日（土） 18:00～20:00
- ・場所： 東京都美術館
- ・定員： 各日15名 *事前申込制
- ・対象： 18歳以上
- ・参加料： 無料 *ゴッホとゴーギャン展の観覧券のご提示が必要です。
- ・申込方法： 東京都美術館 とびらプロジェクトWEBサイトより申込受付
<http://tobira-project.info/news/yorimichi201610.html>

【夜間開館】

下記施設で開館時間を20時まで延長します。

■10月21日（金）、22日（土）

国立科学博物館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京都美術館、東京藝術大学大学美術館

■10月22日（土）

上野の森美術館

【同時開催】

■ヘブンアーティストTOKYO

上野恩賜公園内の各所で、約150組のヘブンアーティスト（大道芸人）と、海外から招いた2組のアーティストが様々なパフォーマンスを披露します。

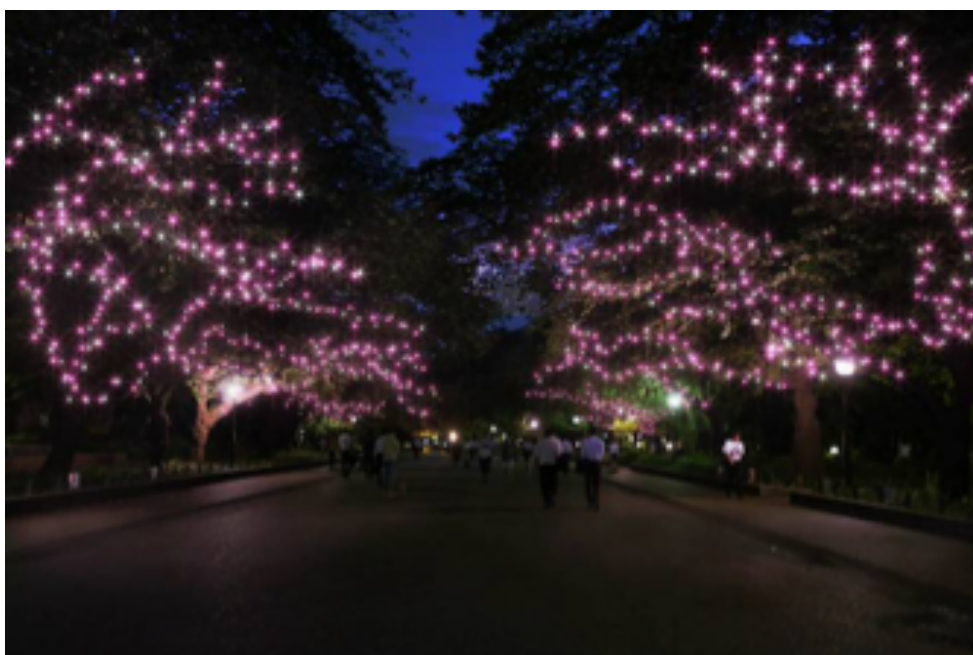
- ・日時：10月21日（金）、22日（土）、23日（日） 12:00～17:00
- ・場所：上野恩賜公園内10か所 ＊自由にご覧いただけます。

■日本皐月協会主催 第14回錦秋展

- ・日時：10月21日（金）～23日（日） 9:00～17:00
10月24日（月） 9:00～15:00
- ・場所：竹の台広場（噴水広場） ＊自由にご覧いただけます。

■石井幹子監修 冬桜イルミネーション

- ・日時：10月21日（金） 18:30～20:00
10月22日（土）～2017年1月15日（日） 17:00～20:00
- ・場所：桜並木 ＊自由にご覧いただけます。



開催されるアート作品の展示やイベント詳細は、変更する場合があります。変更内容は『TOKYO数寄フェス』特設WEBサイトでお知らせします。

『TOKYO数寄フェス』プレスリリースVol.1もご覧ください。
プレスリリースVol.1：http://how-pr.co.jp/pressrelease/tokyo_suki_fes_vol1.pdf

イベントに関するお問合せ先：上野「文化の杜」新構想実行委員会内 TOKYO数寄フェス事務局
TEL：03-5834-2396
プレスに関するお問合せ先：HOW INC. 小池 / 中村 MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp
TEL：03-5414-6405 FAX：03-5414-6406